

株式会社Zebras and Company

ファイナンスとガバナンスの考え方

(株)Zebras and Company

田淵 良敬



- ・「第2回 地域の社会課題解決促進に向けたエコシステム研究会」において、ファイナンス・ガバナンスの課題と課題解決の方向性について、事務局、研究委員の皆様の議論の参考資料
- ファイナンスやガバナンスを考えるにあたって、論点や考えるべき順番などについて整理
- Zebras and Companyにおいて関わった事例を共有

- ・特に創業初期において、知識や余裕のなさから、安易に出資を受けてしまい、後になって株主構成を再考したいという声を多数聞くようになった

→資金調達を考える前に、整理しておくべきこと、考えておくべきことについて助言する「Zebras Finance Design」を開始

- ・Zebras and Companyを創業後、「どんなお金が自分達の事業に合うかわからない」「誰がそういった資金を提供しているかわからない」といった声を多数聞くようになった

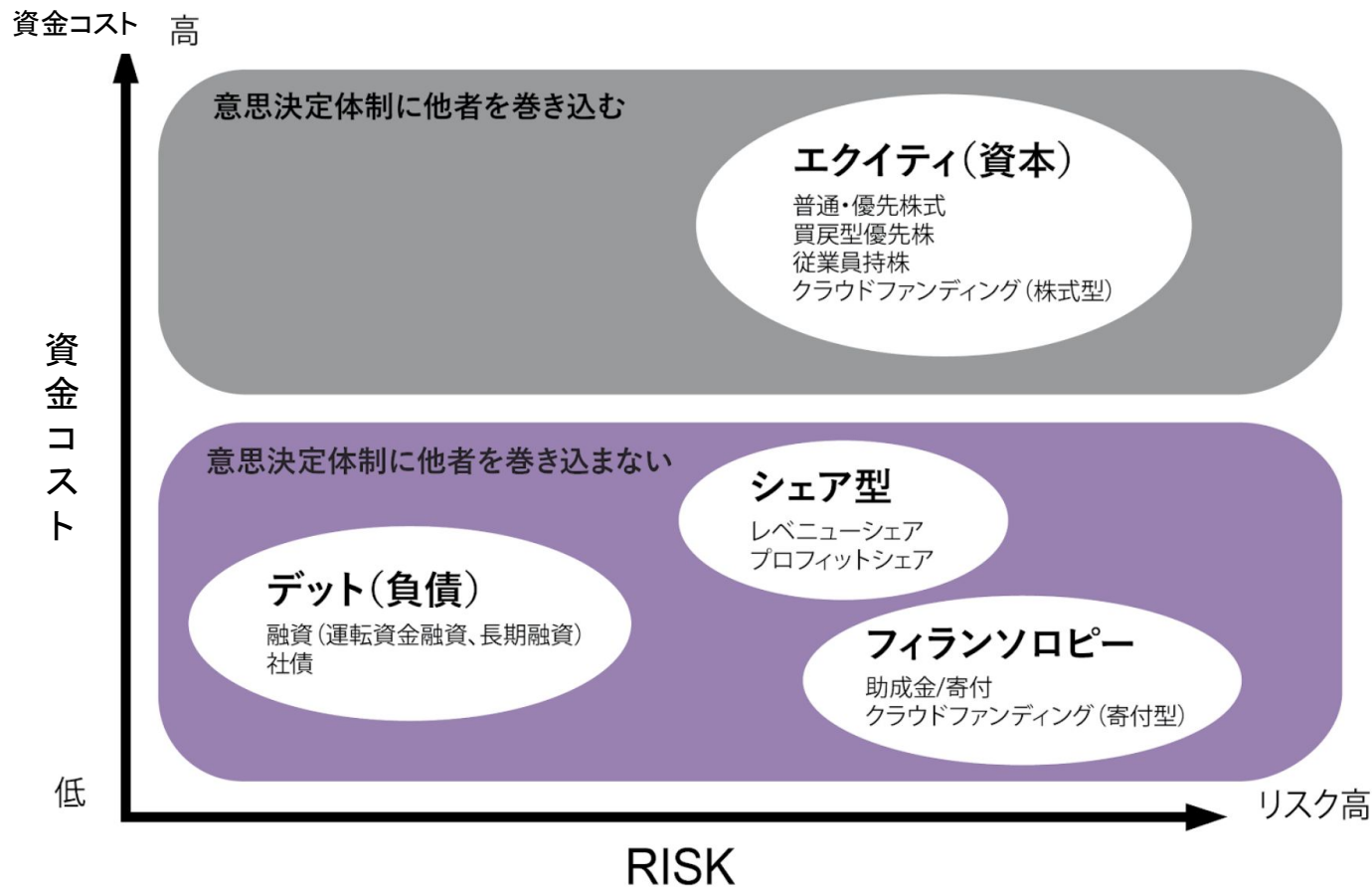
→事業の性質を見極め、適した資金を調達するための設計を支援する「Finance for Purpose」を開始

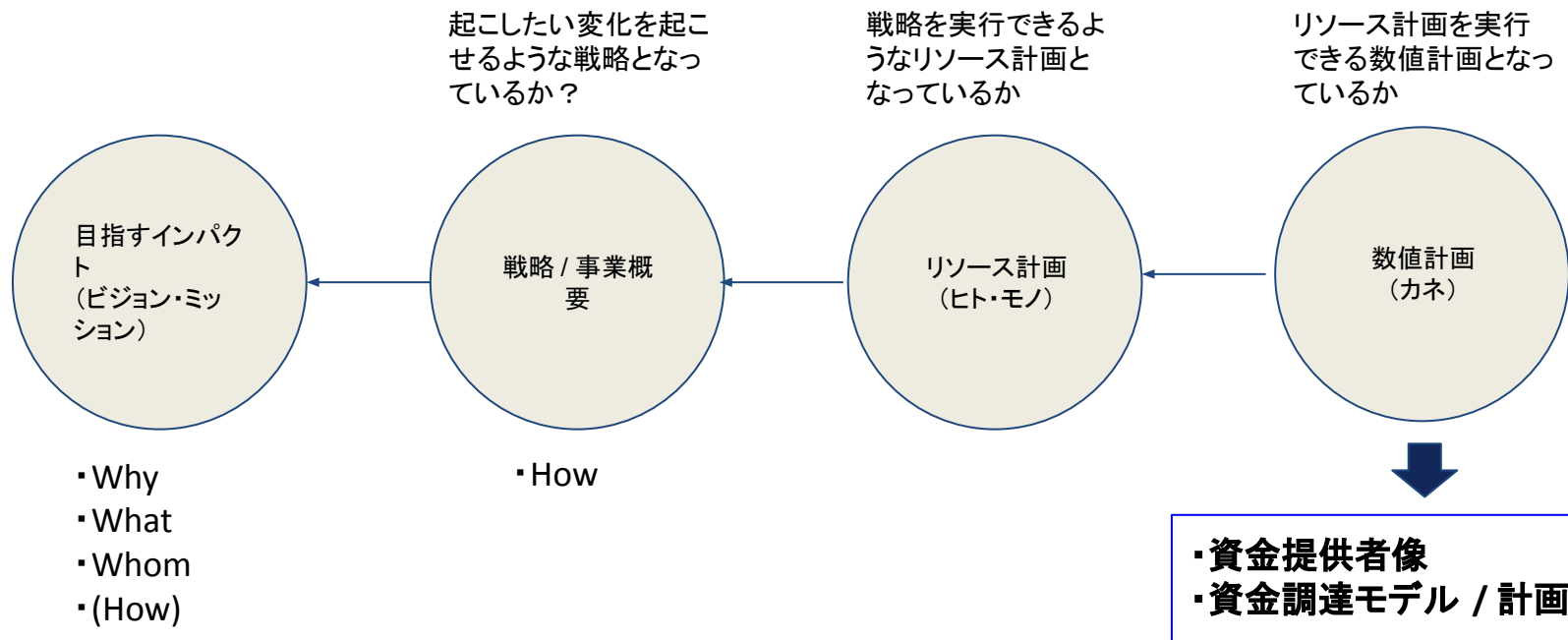
企業の意思決定のあり方、事業に適したお金の「色」を考える必要性。意思決定のあり方、財務需要、リスクなどによって、ファイナンスとガバナンスを考えるようなサービスを展開

ファイナンスの方法は、大きく分けると、エクイティ、デット、シェア型、フィランソロピーの四つに整理できるかと思えます。

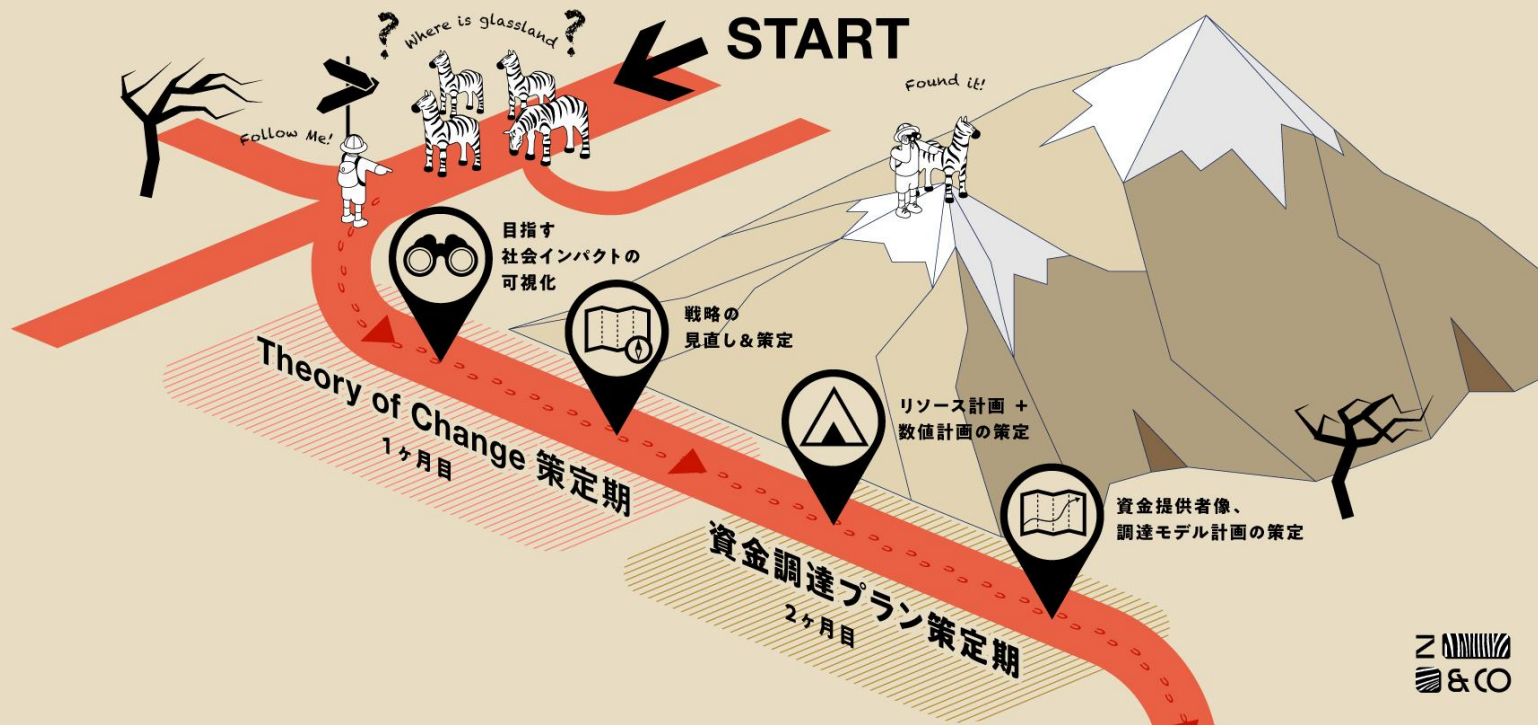
- エクイティ:企業が新株発行を通じて、事業のために資金を調達する行為。エクイティによる調達にはいくつかの方法があり、①市場規模が十分にある、②大きな利益規模が見込まれる、③一定の成長スピードが見込まれるーの三つの条件全てに当てはまる場合は、第三者から一括還元する普通株、どれか一つでも当てはまらない場合は買戻型優先株によって調達し、自社利益から徐々に還元する方法が適している。
- デット:有利子負債(利子を付けて返済しなければならない負債)による資金調達方法。公的融資、銀行融資、社債など。
- シェア型:収益分配型の成果報酬型契約であるレベニューシェア、収益から経費を差し引いた利益を分配するプロフィットシェアなど。出資者はエグジット時のキャピタルゲインを期待して出資するのではなく、収益(利益)の一部をリターンとして受け取る。
- フィランソロピー:助成金、寄付など。

・四つの方法にはそれぞれ異なる特徴があります。自分たちがどのような意思決定体制を望んでいるか、自分たちの事業がどれくらいリスクを限定できているか。この二つによって、どの資金調達方法を選ぶべきかは変わってきます。





Journey of “Finance for Purpose”



Journey of “Finance for Purpose”

PHASE 2





HITOBITO.inc

株式会社 陽と人

陽と人は「しあわせ・笑顔・豊かさの循環」をビジョンとして眠ったままの地域資源を見つけ、価値あるものへと編集し、地域と都市でしあわせが循環する社会をつくりを目指す会社です。

事業内容

- ・地域を伝える農産物の生産・流通・卸売事業
- ・地域資源を活用した商品の企画・販売事業
- ・地域づくりコンサルティング・プロデュース事業
- ・その他(講演・研修など)

ウェブサイト <https://hito-bito.jp>



参照：株式会社陽と人のInstagram写真
ロゴ提供：株式会社陽と人

事業の持続性/起業家の人生設計/投資家の利益のフラットな関係性を目指す投資スキームを開発。(株)ゼブラアンドカンパニーが投資第1号案件として(株)陽と人と基本合意

～開発した投資スキームを標準化したタムシートの雛形も公開～

Zebra and Company

🕒 2022年2月3日 09時00分



株式会社Zebra & Company (ヨミ: ゼブラ アンド カンパニー、本社: 東京都港区麻布十番、代表取締役: 阿座上陽平、陶山祐司、田淵良敬、以下Z&C) は、第1号投資案件として株式会社陽と人 (ヨミ: ヒトビト、本社: 福島県国見町、代表取締役: 小林味愛、以下陽と人) と1000万円の出資に対する基本合意書を締結致しました。

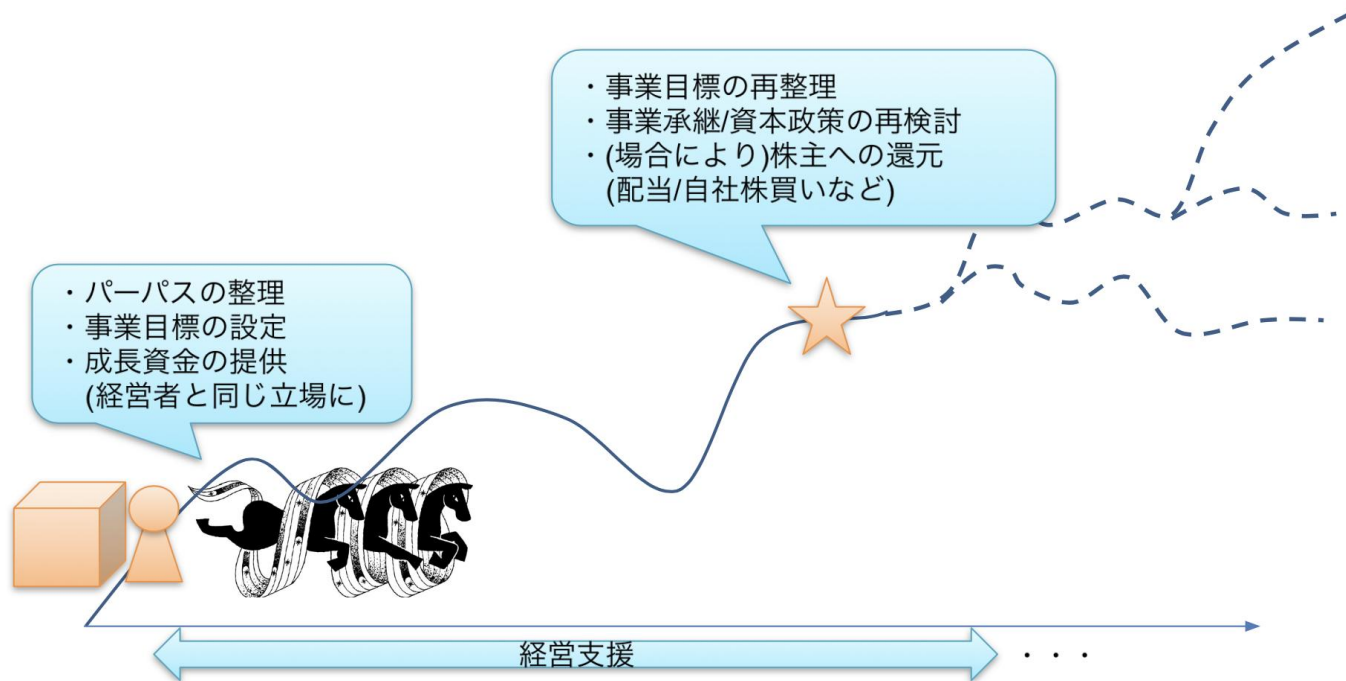


陽と人は福島県国見町を拠点に福島の農家の所得向上と、都市に住む働く女性の生きやすさの向上を目指し、事業の発展とそのモデル化による社会課題の解決を行うゼブラ企業です。特産である桃の規格外品の販売事業から始まり国見町で農業を営む方々との信頼を形成し、2020年から同じく特産であるあんぼ柿の製造工程で捨てられて

事例:ゼブラ投資の雛形 LIFE

今回の投資理念とスキームを基にしたタームシートの雛形(LIFE type1 : Long-term Investment structure for Future Equity=将来の公正のための長期的投資スキーム 試作1)を公開。

将来の見通しが難しい立ち上げ初期のフェーズでも、経営者と投資家がフラットな関係性の元で一定の成長を遂げた後のリターンの設計について対話することを促すスキーム作りを目指しました。



LIFEのダウンロード

<https://forms.gle/2HHzPZTQGxc9rA54A>

LIFE type1 DOWNLOAD

将来公正のための長期投資スキーム試作1にご興味を持っていただきありがとうございます。
今後新しいスキームを検討する際や、関連イベント等にご連絡させていただくために連絡先を記録させていただきたいと思っております。
下記入力後にダウンロードリンクが表示されますので、そちらから資料をご覧ください。

なお、本雛形の利用許諾は不要です。但し、個々の案件により最適な投資スキーム・契約内容は異なりますので、活用する場合には経営者、投資家、他の株主やステークホルダーと話し合い、弁護士とも相談してご利用ください。
Z&Cは、本雛形の利用によるいかなる結果について一切の責任を負いかねます。
ご了承ください。

yoshi.tabuchi@zebrasand.co.jp [アカウントを切り替える](#)



共有なし

* 必須の質問です

上記注意事項を了承します。 *

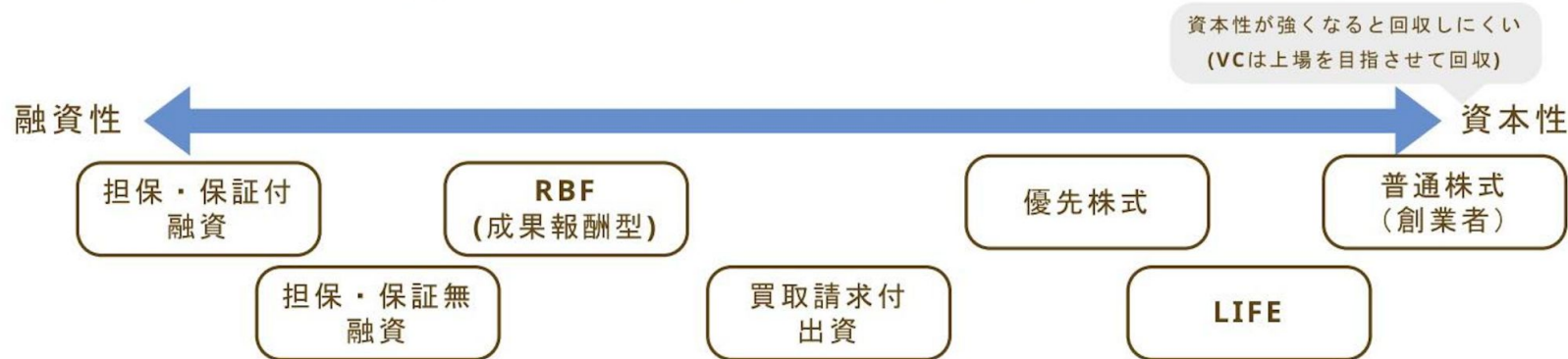
☐ はい

DLの目的を教えてください *

☐ 投資を受けるための参考に

出資の利点と金融の色調（スペクトラム）

- 融資に比べ**成長投資**に当てられる(企業側がリスクをとった投資ができる)
- 投資家が**伴走支援**にコミットするインセンティブになる (適切なガバナンス/**融資ではコストを賄えない**)
- (社会全体として) **経営人材**の育成が進む / 経営ノウハウが流通する
- 助成金よりも出資の方が**大きな金額**を調達しやすい
- 助成金に比べて**柔軟性**が高い (事業環境に応じて, 投資家と議論して使途が変えられる)



※ それぞれの投資スキーム・契約の内容により、
融資性が強くなることも資本性が強くなることも有り得る



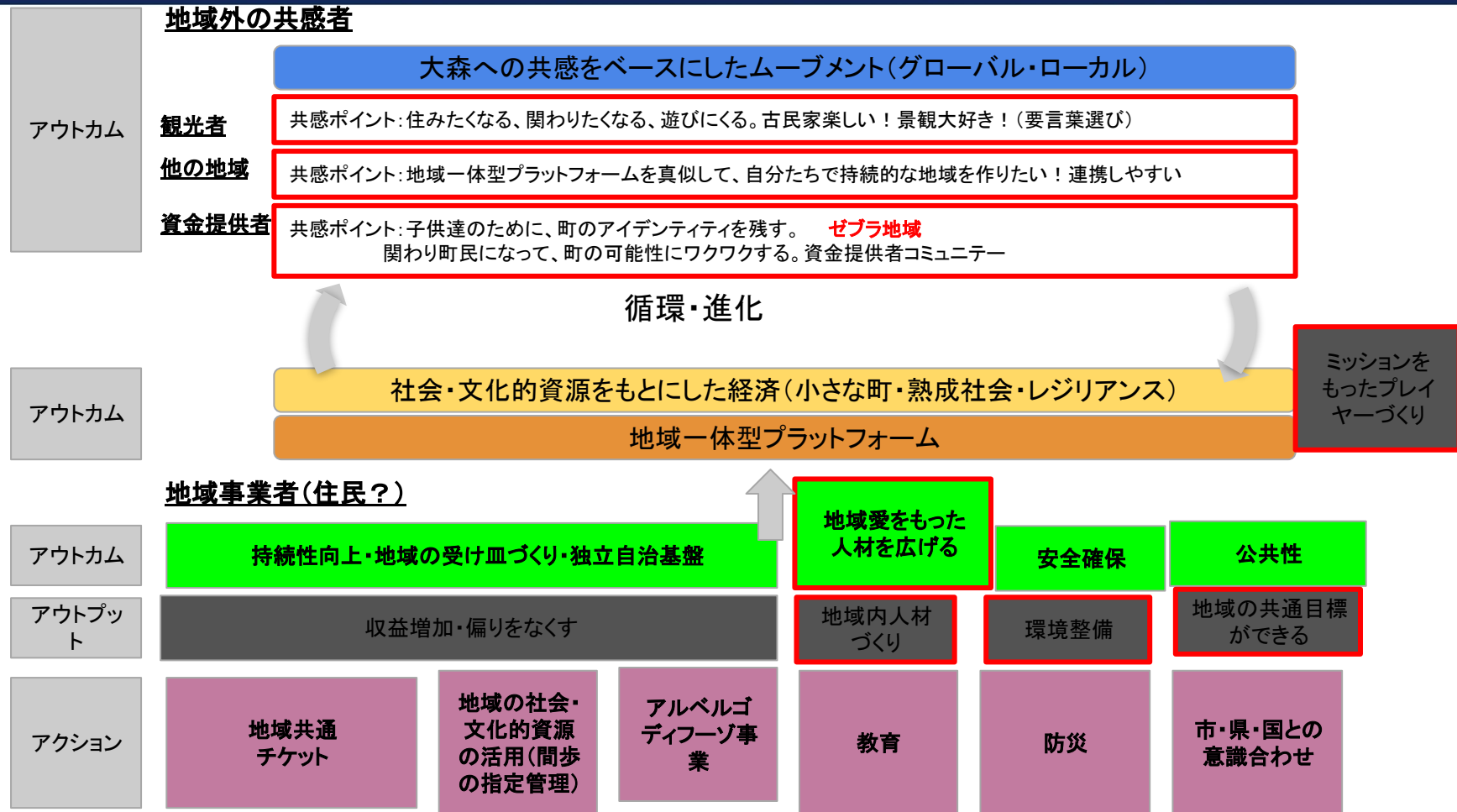
「群言堂」というブランドの下、大森町の生活文化を企画小売り業として生活者との接点を作り続けており、その経験を活かして、大森町において町と生活者を繋ぐ新しい町づくりビジネスを行う。

ウェブサイト

<https://www.gungendo.co.jp/pages/details/000190.php>



事例：株式会社 石見銀山生活観光研究所 / 群言堂



参照：経済産業省「石見銀山エリアにおける観光資源を活用した地域一体型経営の仕組みを利用した事業計画の策定報告書」

財務

③ 資金提供者への訴求ポイント

- | | | |
|--|---|------------------------|
| 1. 経済的メリット
投資リターン / 金利を期待する | ➡ | 企業投資家・銀行 |
| 2. 個社のあり方
大森町の文化を残しながら自立することを応援する | ➡ | 個人投資家、クラウドファンディング、行政補助 |
| 3. 社会のあり方
地域文化とビジネスの持続可能な関係性のモデル作りを支援する | ➡ | 財団、インパクト投資家 |



ZEBRAS  AND   COMPANY 

ZEBRAS   AND   COMPANY  AND  ZEBRAS  Z   COMPANY   & CO  & CO

ZEBRAS  AND   COMPANY 

ZEBRAS  AND  ZEBRAS  Z  ZEBRAS   AND   COMPANY   & CO  & CO  COMPANY

ZEBRAS  AND   COMPANY 

ZEBRAS   AND   COMPANY  AND  ZEBRAS  Z   COMPANY   & CO  & CO

ZEBRAS  AND   COMPANY 